

# 委員会審議のインターネット中継実現などを呼びかけ 正副議長選で日本共産党議員団

改選後の初議会が21日開かれました。正副議長、常任委員の所属などが決まりましたので報告します。

最初に行われた議長選挙では、日本共産党議員団の私と最大会派、「創風」の滝沢逸男議員が立候補しました。投票前に候補者の所信表明が行われました。

私は、「議会は今、転換期を迎え、これまで以上に努力していくことが求められている。ひとつは丁寧な議論、わかりやすい議論をしていくことだ。二つ目は、市が抱える重要問題は党派を超えて全議員が力を合わせるべきこと。そして三つ目は市民参加を広げる努力をしていくことだ。私が議長になったならば、こうした点を意識しながら、今後2年間に、委員会審議のインターネット中継を実現し、本会議場でのプロ

ジェクター使用を認めていく。議会報告会などの運営を改善し、より多くの市民の参加を実現していくことを約束する」と訴えました。

瀧澤逸男議員は、「上越市は並行在来線問題など待ったなしの課題が多い。議会としての責務、役割を果たしていかなければならない。開かれた議会、信頼された議会、市民に分かりやすい運営をしていきたい。政策立案能力を一段と高め、ときには行政と厳しく対峙する中で市民目線を貫いてまいりたい」とのべました。

選挙の結果、瀧澤逸男議員が20票を獲得して当選しました。私には6票入りました。日本共産党議員団のほかに3人が入れてくださったことになりました。無効は6票でした。

続いて行われた副議長選挙では会派、「新政」の佐藤敏議員が所信表明を行い、議会の民主的な運営などについて約束しました。投票の結果、佐藤議員が25票で当選しました。所信表明はなかったものの、会派、「市民クラブ」の柳沢周治議員に1票入りました。無効は6票でした。

今回の議長・副議長選にあたって、「新政」からは副議長選での支持の申し入れ、「創風」からは、議長選での支持の申し入れがありました。私たち日本共産党議員団では、議会の運営などに関して3つの事項に



## 議長選挙に当たっての申し合わせ(案)

- 1 議長は上越市議会基本条例を遵守するとともに、その趣旨を日常の議会運営において実現するためのあらゆる努力を行う。
- 2 議長は、市民の福祉の向上及び公正で民主的な市政の発展に寄与する議会の役割を自覚し、不断に議会活性化に関する取組をすすめるとともに、さらに開かれた議会を目指し、情報公開を率先して行うため、次の点をはじめとする必要な取組を行う。
  - (1) 委員会審議の様子のインターネット中継につき、任期中の実現をめざす。
  - (2) 委員会記録のホームページ上での公開につき、任期中の実現をめざす。
  - (3) より多くの市民が参加し発言できるよう、議会報告会の運営改善を図る。
- 3 議長の職務を遂行するに当たっては、その重要性に鑑み、次の各点を行動規範とする。
  - (1) 議事運営に習熟すると同時に、議会が執行部と対等同格以上に対応できる権威と識見を維持できるよう、修養に努める。
  - (2) 会派などの代表としてではなく、議会の代表として発言し、行動する。
  - (3) 少数意見を尊重し、議会の民主的運営に努める。

ついて合意できれば、申し合わせ文書を交わして協力するということになりました。「新政」との間ではこの合意はでき、文書を交わすことができませんでした。私と「創風」との間では最終段階で文書を交わすことができず、私が立候補するということになりました。この際、どういった文書を交わす提案をしていたかを公開します。

まさに体育祭日和でした。若葉がとても美しく、空は青空。暑くもなく、寒くもない。前日降った雨のためグラウンドが乾ききっていないということはありましたが、生徒たちは全く気にしないで動き回りました。

入場行進。スピーカーの音が校舎の壁にぶつかってはねかえってきます。いいもんですね、体育祭のアナウンスの声って……。アナウンサー担当の女性の声が本当によくグラウンドに響きます。

——県立吉川高等特別支援学校は今年度、生徒数は三〇名となりました。本日、さわやかな青空のもと、記念すべき第一回体育祭が行われることとなりました。白組と紅組の二組に分かれ、競技や応援などを繰り広げていきます。皆様、最後まで温かいご声援をお願いします——

グラウンドの東側からスタートした行進は、プラカードを持った生徒が先頭を歩き、その後ろに紅組、白組と続きます。紅組、白組の先頭はいずれも旗です。旗手が斜めに突き出した旗は風にはためき、力強く感じられます。生徒たちは全員鉢巻き姿でした。気合を入れたのでしよう。

行進の際に流れた音楽、聴いたことのある曲だと思ったら、岡村孝子の「夢をあきらめないで」でした。この曲は吉川高等特別支援学校の応援歌的な存在です。

♪ 苦しいことに つまづく時も きつと 上手に 越えて行ける 心配なんて ずっと しないので 似てる誰かを愛せるから……

曲に合わせて大きく手を振って歩く生徒もいれば、前を歩く人の足の動きを見ているのでしようか、ちよっぴり下を向いて歩いている生徒もいます。紅組の生徒も白組の生徒も少し緊張気味です。でも、行進は列を崩すこともなく、みんな、しっかりと大地を踏みしめています。一生懸命さが伝わってくる行進です。

グラウンドの南側にあるテント周辺では、ステージ上の校長先生をはじめ教職員、保護者、来賓、地域の人たちが手拍子で応援です。行進する生徒たちがテント前に来たとき、応援する人たちの手拍子の音が一段と大きくなりました。このとき、ちらっと横を向いて行進する生徒もいました。応援に来た家族の様子が気になったのかも知れません。

思いがけないことが起きたのはそれから間もなくです。生徒たちがグラウンドのトラックを一周し、さらに進んで本部テントの反対側のトラックまで来たときでした。九〇度曲がってグラウンド中央へと進まなければならないのに、生徒たちはそのままトラックを進み続けたのです。

「あれっ」と思ったのはほんの一瞬でした。アナウンサー担当の方が間髪をいれず「前に進んでください。もう一周します」と生徒たちに呼びかけたのです。見事な判断でした。続いて、別の先生が、「リクエストにお応えしてもう一周まわります。みなさん、大きな拍手をお願いします」とテント周辺の人たちに肉声で呼びかけました。これまた素敵な呼びかけでした。

行進の二回目、先頭の生徒がグラウンド中央へと曲がったとき、職員や保護者、地域の人たちからは大きな拍手が送られました。グラウンドを二周したことで、生徒たちは入場行進の感動を二回分も味わうことができました。体育祭は今回が第一回目。グラウンドではこれからも感動のドラマがいくつもつくられるにちがいありません。

## 総務常任委員長に笹川栄一議員 中山間地対策特別委員長には橋爪

21日の臨時議会では、各議員の常任委員会、特別委員会の所属も正式に決まり、正副委員長人事も行われました。

特別委員会は今回も4つ設置されました。このうち、新幹線・並行在来線等特別委員会、中心市街地活性化対策特別委員会、中山間地対策特別委員会の3つはこれまでの特別委員会と基本的には変わりません。災害対策特別委員会は上越市議会初の設置です。多発する災害、原子力災害対策などで活発な審議が期待されています。この災害対策特別委員長には元消防職員の瀬下半治議員が就任しました。



【シロバナニガナ】漢字では白花苦菜と書きます。ニガナの変種。黄色い花を咲かせるものはハナニガナ（花苦菜）と言います。吉川区小苗代にて24日午前、撮影。

私は中山間地対策特別委員会の委員長になりました。中山間地

振興基本条例の制定を受けて、中山間地対策の具体的な提案をまとめていく仕事を中心となります。

各常任委員会、特別委員会、議会運営委員会の正副委員長は次の通りです。

各常任委員会、特別委員会、議会運営委員会の正副委員長は次の通りです。

総務常任委員会委員長	笹川栄一（新政）
同副委員長	江口修一（創風）
厚生常任委員会委員長	柳沢周治（市民クラブ）
同副委員長	平良木哲也（日本共産党）
建設企業常任委員会委員長	渡辺隆（創風）
同副委員長	波多野一夫（新政）
文教経済常任委員会委員長	草間敏幸（新政）
同副委員長	上松和子（公明党）
新幹線・並行在来線等対策特別委員会	
委員長	大島洋一（創風）
同副委員長	近藤彰治（市民クラブ）
中山間地対策特別委員会	
委員長	橋爪法一（日本共産党）
副委員長	鴨井光夫（創風）
中心市街地活性化対策特別委員会	
委員長	滝沢一成（新政）
副委員長	宮崎政国（創風）
災害対策特別委員会委員長	瀬下半治（創風）
同副委員長	山崎一勇（新政）
議会運営委員会委員長	武藤正信（創風）
同副委員長	塚田隆敏（新政）